

筑波大学周辺における買い物駐車場の分布及び利用条件について

王瑩（地球科学専攻）

1. 目的：つくば市における人口密度の一番高い地域である筑波大学周辺に多く立地する買い物駐車場に着目し、その分布特性及び利用条件を明らかにする。
2. 対象地域：筑波大学エリア、つくばセンターエリア、つくば研究学園エリアに立地しているショッピングモール及びコンビニを調査対象とする。
3. 研究方法：GPS を用いて各買い物駐車場のポイントデータを取り、各買い物駐車場の駐車条件と利用制限を記録する。利用条件については、各買い物駐車場の一日中に駐車できる最大時間及び料金基準も詳しく記録する。次に、取得したデータを ArcMap に取り込み、各買い物駐車場の分布特性及び利用条件を考察する。
4. 結果・考察：大型買い物駐車場は 20 ヲ所、コンビニはローソン、セブンイレブン、Familymart、ministop、サンクスの 5 ヲ所のデータと聞き取り調査結果を入手した。

図 1 が示すように、大型買い物駐車場はつ

くばセンターエリアとつくば研究学園エリアを中心に、主に道路沿いに集中する。つくば駅とつくば研究学園駅及び周辺に集中している住宅地の近くに分布が密集する特性が見られた。

各買い物駐車場の利用条件については、図 2 が示すようにつくば研究学園エリアに全日営業時間に制限なし無料で駐車できるショッピングモールが多く立地している。つくばセンターエリアには時間制限があり、1 時間無料であるいは 1 円以上お買い上げであれば 3 時間無料で駐車できるショッピングモールが集中している。筑波大学エリアには買い物をしてから、また 30 分ほど駐車できる買い物場所が多く見られる。

大型買い物駐車場の数については、筑波大学エリアはつくばセンターエリアとつくば研究学園エリアより、相対的に少ない。

研究地域におけるコンビニについては、各コンビニの種類に関わらず、駐車できる時間はお買い物時間で、大型買い物駐車場より駐車場の面積が著しく狭いためである。

筑波大学周辺における買い物駐車場分布



図 1

筑波大学周辺における大型買い物駐車場分布



図 2